

事務事業名 生涯学習ボランティア事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：646

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090602-10-00
基本事業：	02	生涯の学びを地域で活かせる人づくり	担当部	教育部
基本事業の成果指標	地域で活動する人材の育成人数 生涯学習ボランティア新規登録数 自らの知識や能力を活かし、地域で活動している市民・団体の数		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成10年度 ~		新規・継続	継続	会計区分			実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市民			筑紫野市ボランティアバンクの会に委託し、市民からのボランティアの派遣及び紹介依頼の相談・派遣等を行う。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			ボランティア登録・派遣・紹介 市民からの相談・申込 内容確認・活動依頼（コーディネート） 派遣費用（交通費・1日700円）については、平成30年度より廃止（無償化）。							
市民主体のまちづくりを実現するために、地域に根ざしたボランティアの育成やボランティア登録者を拡大し、生涯学習ボランティア事業を効果的に展開することで、市民が主体的に学び支えあう生涯学習社会の実現を目指す。			地域活動支援事業（各コミュニティセンターでの「このゆびとまれ」や学習会・交流会、子どもの居場所づくりに関する取り組み等を実施） 広報・啓発（HPでの情報発信、会報の発行、活動PR等） 研修事業（市民・会員を対象とした育成研修、リーダー養成研修） 生涯学習フェスティバルへの参画							
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	02年度 実績	03年度 実績	04年度 当初	05年度 要求	06年度 計画	07年度 計画	目標	
ボランティアバンク利用者数		人	17,351	10,055	48,000	48,000			50,000	
ボランティアバンク活動者数		人	313	299	1,800	1,800			2,000	
5. コスト										
事業費		計	千円	3,060	2,892	2,898	2,898			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
一般	千円	3,060	2,892	2,898	2,898					
正職員人工数		人工	0.1	0.2	0.2					
正職員人件費		千円	803	1,584	1,546					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	3,863	4,476	4,444	2,898				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		派遣費の廃止（平成30年度～）や高齢化等に伴い、利用者数・活動者数が減少傾向となっている。令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、5月12日～6月20日、8月5日～9月30日の間は派遣活動を停止していた。また、コロナ禍でボランティアの派遣先が少なく、人数制限もあり、利用者数・活動者数が減少した。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	ボランティア事業は地域活動において重要であるため、利用者数、活動者数の増加に向けて事業を行う必要がある。						
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり							
成果向上余地	大きい									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
登録者の中でも活動頻度にばらつきがあるため、活性化に向けて検討・助言等行っていく。また、更なる業務の効率化についても検討していく。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
平成10年度から、ボランティア紹介事業として始め、平成12年度からボランティア派遣事業とした。 平成18年度から、ボランティアバンクの会に事業を委託している。										